

丸山眞男著「政治の世界」を読み、教養ある人について知る

開倫塾

塾長 林明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
8月6日は広島原爆の日、8月9日は長崎原爆の日、8月15日は終戦記念日です。これらは国際関係や政治的なことが話題になる大切な日だと思います。
2. さて、今日は1冊の本を紹介させていただきます。丸山眞男著「政治の世界」です。丸山先生は東京大学卒で、おろらく昭和の時代、終戦後で一番有名な政治学者です。
私はこの本を手に入れたかったのですが、昔はどこからも出版されていなくて、なかなか手に入りませんでした。それが岩波文庫から出ていますので、ぜひ皆様にもお読みいただきたいと思います。
3. 丸山先生は、「あらゆることについて何事か(基本的なこと)を知っていると同時に、ある事柄(特定の事柄)についてあらゆること(すべてのこと)を知っているのが教養ある人である」と言っています。
それはどんな人かという、例えばオーケストラの指揮者の方だと、専門の演奏家と同じようにうまく演奏できなくてよいのですが、一つ一つの楽器のそれぞれの性質や演奏の仕方については一応全部知っておかなくてはなりません。そうでないと、指揮はできないのです。同時に、指揮者ですから指揮の仕方、これを指揮法というらしいですが、指揮法については徹底的に精通していなくてはなりません。これが大事なことです。つまり、指揮者であれば、一つ一つの楽器や性質や演奏の仕方について一応知っている上で、指揮法は完璧に理解していなくてはいけないということです。
4. お医者さんであれば、人のからだのしくみや病気、レントゲン・MRI・CT・カテーテル・内視鏡などの検査、薬についてもだいたい知っている。その上で、自分の専門領域、眼科であれば眼のことについて全部知り尽くしている、循環器内科であれば手術について全部知っている、胃腸科であれば胃腸について全部知っていることが大事です。
5. 英語の先生であれば、小学校から高校までの英語については全部知っている。社会の先生であれば、地理・歴史・公民・倫理・現代社会などについて全部知っている。その上で、中学校の先生なら中学校の社会の中身に精通している。高校は1科目ですから、地理なら地理について精通している。これが大事だと思います。

6. これが一番言いたいのですが、政治家はどうでしょう。国会議員なら世の中のことをだいたい知っていて、国の政治については本当に知り尽くしている。市議員なら市の政治に関してだいたい知っていて、自分の専門領域については知り尽くしている。だいたい知っていると、自分の専門領域については徹底的に精通しているという、この二つがあって初めて教養ある人だと丸山眞男先生はおっしゃっています。
7. すべてのことについて知る機会が一番あるのは、小学生、中学生、高校生の時代です。この時代は、英語、数学、理科、社会、国語、音楽、美術、保健体育、技術家庭などいろいろな科目について一応全部何事かを知る勉強ができます。ですから、この機会にたくさん勉強し、これぞというものが心に決まったら徹底的に勉強してほしいと思います。例えば、この分野をもっと突き詰めたい・この仕事に就きたい・このような社会的活動がしたいなどと心に決めたら、一所懸命勉強して全部知り尽くすことが大事です。
8. まとめると、教養ある人というのは、あらゆることについて何事かを知っていて、それプラス、ある事柄についてはすべてを知り尽くしている人です。自動車の整備士でいえば、自動車の部品についてだいたい知っていて、プラスその部品のあらゆることに精通している方が教養ある人です。
9. 今日は、丸山眞男先生の「政治の世界」という本をご紹介します。